2025年度　　(問)解)

文学部　史学科　　2・3年次(転籍・転部・転科・編入)試験用紙

試験科目（論文）

受験番号	番
フリガナ	
氏　名	

Ⅰ　次のA・Bから日本史専攻希望者はA(1～4)を、東洋史・西洋史専攻希望者はB(1～4)を、それぞれ選択して、空欄①～⑳に適切な語句を入れよ。

A.

1. 6世紀末から7世紀初めになると、首長連合体制の象徴ともいうべき(①)の造営が終わり、これにかわるように仏教寺院が建立されるようになる。蘇我馬子の発願によって創建された(②)や、(③)天皇の創建と伝わる百済大寺、厩戸王の創建といわれる四天王寺や法隆寺などがよく知られている。倭は、東アジアの国際的な共通理念ともいうべき仏教を摂取していき、それは憲法十七条に「篤く(④)を敬へ」とあるように、政治の共通理念ともなっていった。倭は(⑤)天皇の時期に派遣された遣隋使に引き続いて、(③)天皇の下で630年に派遣の始まった遣唐使によって、東アジアの新しい政治制度や文化の摂取を進めて中央集権体制の確立を目指した。

2. 1467年、室町幕府将軍の権力が弱体化したことを背景に始まった(⑥)の乱では、守護大名が細川(⑦)方と山名持豊方に分かれ、京都を主戦場として戦った。そのため、戦火に焼かれて荒廃した京都の公家や僧侶は、守護大名を頼って地方へと下っていった。特に大内氏の城下町である(⑧)には、多くの文化人が集まり、儒学や古典の講義が行なわれるようになった。なぜなら、1399年に大内(⑨)が将軍足利義満によって討伐された後、大内氏が幕府に代わって日明貿易の実権を握ったため、その利益によって富み栄えていたからである。また薩摩の島津氏は、薩南学派の祖とされる桂庵(⑩)を招き、儒学の講義を受けた。

3. 延宝8年(1680)の家綱死去の後、将軍に就任したのは弟の(⑪)であった。生類憐みの令で知られる将軍だが、彼の初期の政策は、勘定吟味役の設置や代官の粛正など、幕領の農政を重視したもので、この頃の元号をとって(⑫)の治と呼ばれている。武家諸法度の第1条を「文武(⑬)を励し、(⑭)を正すべき事」と改めたのも彼の政権下においてである。しかしながら、次第に牧野成貞や柳沢吉保を(⑮)として重用するようになり、専制的な政治をおこなった。

4. 1918年9月、衆議院の与党である(⑯)の総裁原敬を首班とする内閣が成立した。原内閣は、外交では国際協調を軸とした政策を展開した。パリ講和会議の結果、中国では山東半島におけるドイツ権益の継承が認められた。たが、このことは中国側の反発を生み、(⑰)と呼ばれる反日国民運動が起こった。また旧赤道以北の旧ドイツ領南洋諸島については、国際連盟より(⑱)を認められ、これを領有した。国内政治では普通選挙の実施を求める声に対しては慎重な姿勢をとり、選挙権の納税資格を(⑲)円以上に引き下げ、小選挙区制を導入するにとどまった。また植民地統治政策に関しては、文官の総督就任を認める官制改革を行うなどの改善を行った。これを受けて台湾総督には初の文官総督として(⑳)が就任した。

B.

1. 秦は孝公の時代の(①)と呼ばれる改革によって強大化したが、これを主導したのは法家の(②)であった。儒家の(③)の弟子であった法家の(④)は、始皇帝の下で丞相となり、秦の支配体制を構築した。法家思想による苛烈な支配は秦を強大化させたが、それに反発した(⑤)と呼ばれる農民反乱を機に、秦は滅ぶこととなった。

2. キリスト教的な宗教結社である(⑥)を組織した(⑦)は、1851年に蜂起して、太平天国と称した。やがて華中・華南を支配する大勢力となり、土地を均等に分配する(⑧)制度などの新しい政治を試みたが、(⑨)の率いた湘軍やゴードンの率いた(⑩)の活躍もあって勢力を弱めていき、太平天国は1864年に滅亡した。

3. 古代ローマ帝国は、395年に(⑪)帝が死去した後、東西に分裂した。西ローマ帝国は476年に滅亡の時を迎えることとなるが、(⑫)を首都とする東ローマ帝国はその後も繁栄を続けた。とくに6世紀に帝位にあった(⑬)帝は、地中海世界における支配圏の回復に成功し、法学者のトリボニアヌスらに命じて『法学提要』・『学説彙纂』・『勅法彙纂』・『新勅法』からなるローマ法の集大成である(⑭)を編纂させたことでも知られる。しかし(⑬)帝の死後、帝国の国力は次第に低下し、1453年、(⑮)帝国により滅ぼされるに至った。

4. イギリスにおける宗教改革は、国王(⑯)が王妃との離婚を認めない教皇と対立したことに端を発する。1534年に制定された(⑰)によりイギリス国教会が成立し、カトリックから分離・独立して国王に従属することとなった。その後、スペインの(⑱)と結婚した女王メアリ1世の治世にはカトリックを復活させる動きもみられたが、(⑲)治世下の1559年に国教会の祈禱や礼拝の統一をはかる(⑳)が制定されたことで、新教の教義とカトリックの制度や儀式をあわせたイギリス国教会が確立された。

裏面に続く

採　点　欄

Ⅱ　次のうち、日本史専攻希望者は1～4の中から、東洋史・西洋史専攻希望者は5～8の中から、それぞれ一問を選択し、論述せよ。

1. 勘解由使について
2. 永仁の徳政令について
3. 村方三役について
4. 地方改良運動について
5. 郡県制について
6. 白蓮教について
7. 叙任権闘争について
8. ロシア革命について

Ⅲ　専攻希望分野を、下記の中から選んで丸をつけよ。

日本考古学　　日本古代史　　日本中世史　　日本近世史　　日本近現代史
東洋史（物質資料）　　東洋史（文献史料）　　西洋前近代史　　西洋近代史　　西洋現代史